

[資料]

## 北海道の姉妹都市

梅 原 達 治

### はじめに

1869年、北海道と命名されて以来、本道は急速に開発され、多くの住民を他府県から迎え入れた。それ以前をも含めて、本道各地は他府県各地と様々な関係を保ち続けながら発展してきた。現在、手元の資料によれば、本道には212市町村があり、そのうち他府県の市町村と姉妹都市（友好都市を含む）の提携をしたものが65市町村ある。それ等は他都府県3,023の自治体のなかから129市区町村を伴侶として選び、姉妹都市などの友好関係をもっている。

福井県大野市ゆかりのあるまち交流協議会は大野市とともに『ゆかりのあるまち』を発行し、それに茨城県古河市、岐阜県高山市、滋賀県彦根市、同県甲賀郡信楽町と三石町を取り上げている。これらの市町は大野市とゆかりがあり、姉妹都市の関係をもつものである。三石町歌笛は1895—96年にわたり、大野市打波地区、富田地区、上庄地区、大野地区などの出身者により開拓されたところである。その他の市町は大野藩主の関係がおもな紐帯となっている。三石町への移住にも、大野藩の政策が反映しているようである。（大野市）大野市の姉妹都市は三石町を除き、大野城主や大野藩主との関係をその要素としている。古河市は1682年、幕末までの大野藩主であった土井氏の祖、土井利房が譜代4万石の領主として入部する以前に藩主であった都市である。（Kd 2、674—675）そして大野市は同市を

兄の町、父の町と呼んでいる。(大野市、8 頁)姉妹都市にたいして、このように親族に譬えられる関係を感じているのが旧来の感情であろう。

各自治体がそれぞれの姉妹都市を選ぶ要因は一言で言えば共通の関心にある。共通の関心がない所に締結はありえない。かつての姉妹都市は関心の一致があつて姉妹都市の締結があつたが、近年は姉妹都市をもちたいと云うことが共通した関心であると云えるような姉妹都市が出現しているようにも思われる。たとえば、枝幸町は福岡県浮羽町と交流を始めたが、それは枝幸町は蟹、浮羽町は富有柿などカキが特産でさるかに合戦に因んだという。これで海の幸と山の幸を交換し、特産品の販路を広げようというアイデアに因るものとのことである。この場合、交流のみで、姉妹都市にまでは発展してはいないが、このような契機が住民の関心を得ているようである。また、弟子屈町には長野県諏訪市から諏訪湖と屈斜路湖との提携の話が寄せられている。これは最近、諏訪湖では暖冬のため御神渡りが見られない状態が続いたが、屈斜路湖では国内最大の御神渡りが出現していることによるとのことである。この場合、湖同士の提携であるが、このようなものを核にして自治体の提携が続く場合もありえよう。

北海道の姉妹都市の締結の要因を中心に姉妹都市の現状を一瞥して見たい。近年の自治体の在り方の一面を示しているようにも思われる。

本稿は、本道各自治体の姉妹都市についての情報集積の作成を意図したものである。そして、その過程において知り得たものを整理して姉妹都市の性質を分析してみたものである。

木古内町の開発は旧小泉藩士の入植に始まった。同町は鶴岡市と姉妹提携を結んでいたが、1988年、J R 海峡線の開通により、青森県蟹田町と隣町の関係になった。そこで、両町の交流が始まった。この時、すでに蟹田町はやはり、渡島地方砂原町と姉妹関係を結んでいたこともあり、当面は友好町として交流することとしたとのこ

とである。

ここに云う姉妹都市は必ずしも厳密な規定によるものではない。当事者がそのように思っている場合、それらは姉妹都市であるとする。つまり、自治協会が各自治体に姉妹都市についてのアンケートを行い、当事者がそれに該当するものとして、友好都市をあげていれば、それは友好都市ではあるが、姉妹都市の範疇に入れる。自治体では両者を区別している者もあるが、友好都市を姉妹都市としていた者もある。分かっている限り、一応の区別はつけておいたが、統計的取り扱い以外はとくに区別していない。

### 姉妹都市

『全国市町村要覧（平成6年版）』（自治省）（以後、『要覧』と略記し、頁数を示す。）には、同名市町村提携として、神奈川県大和市、福岡県山門郡大和町、島根県邑智郡大和村など、1市7町4村が1989年5月14日に締結した「まほろば連邦」はじめ、34種の姉妹都市提携が記されているが、その定義というか規定というか、その性質に就いての説明はない。『要覧』によれば、その締結の時点から見れば、千葉県長生郡と山梨県東八代郡の一宮町の1982年4月10日が最も古い。しかし、岐阜県郡上郡と香川県大川郡の白鳥町が未提携ではあるが、1974年10月から交流を実施していると備考にある。（512—514）また、その他の提携として、1984年6月25日に締結された現在24市町が加入している「芭蕉ゆかり」の提携都市など38種が挙げられている。（515—521頁）本稿で取り上げた自治体を除き、本道関係分は次の通りである。

広域都市問題連絡協議会 1978年12月1日 旭川市

ないないサミット 国道も鉄道もない市町村全国連絡会議 空知郡北村 上川郡鷹栖町 同東神楽町 同東川町 同朝日町 枝幸郡歌登町 網走郡東藻琴村 河東郡鹿追町 阿寒郡鶴居村など市町村

ドラゴンサミット 雨竜郡雨竜町 同北竜町 1988年10月30日 静岡県天竜市 鹿児島県大島郡竜郷町 和歌山県日高郡竜神村など

## 15市町村提携

ホークスサミット 鷹栖町 1989年8月28日 東京都三鷹市 秋田県北秋田郡鷹巣町など5市町

これによれば鷹栖町は「ないないサミット」と「ホークスサミット」の2協議会に加盟している。

本稿で取り上げたものを帯広市を始めとし19の町村がある十勝地方に例をとると、次の通りである。そのうち12市町村が姉妹都市をもっている。更に、そのうち音更町など9町村はそれぞれ1市町村を対象に姉妹都市をもっている。この場合、9町村が9協定で9市町と締結していることになる。帯広市、豊頃町はそれぞれ、3市町、2市と別々に姉妹都市の提携をおこなっている。この場合、2市町が5協約で5姉妹都市と提携していることになる。清水町、池田町はそれぞれ、1協約で3、6町村と締結している。この場合、2町が2協約により9町村と締結していることになる。なお、豊頃町、大樹町が別々に福島県相馬市と姉妹提携をしているので、全体で対象姉妹都市数は1減少する。なお、広尾町と芽室町が姉妹都市の提携をしているが、本稿では道内の自治体と道外の自治体との提携だけを取り上げたので、これを除外した。

静内町は1986年に兵庫県洲本市姉妹都市提携をし、1990年に兵庫県西淡町と徳島県脇町と姉妹都市になった。1870年の庚午事変の後の洲本城代稲田家の静内郡支配に伴う、北海道移住に静内町の開発が始まった。洲本城代稲田家の先祖は蜂須賀家の家臣として、脇城にいた経歴があり、稲田家の関係で洲本市と脇町が姉妹関係をとの話が出て、洲本、脇、静内の3市町が姉妹都市となるべく、脇町は静内町と同時に洲本市とも姉妹都市提携をし、静内町、洲本市、脇町の3市町の三姉妹都市の関係が生まれた。静内町は洲本市および脇町と別々の協定を締結しているが、これは1協定として取り扱った。

また、西淡町は1885年、渡辺伊平を団長とする日蓮本門仏講中等一行53戸、168人がは静内町豊畑の開拓に出発したとして、新たに締

結されたもので、静内町は3提携書に調印しているが、そこに見られる関係は稲田家を中心とするものと稲田家と無関係のものの2群に分類することが出来る。この場合、静内町は2提携で3市町と提携していると数えることにする。苫小牧市の場合も先ず八王子市と、ついで日光市と提携したが、3姉妹都市との関係の交流であるので、1提携、2市との関係とする。

帯広市は海外をも含めて4都市と姉妹提携をしている。それにたいしてつぎのような記載がある。（振興会、404）

国際姉妹都市・スワード市（アメリカ合衆国アラスカ州、1968年3月27日）、開拓姉妹都市・松崎町（静岡県、1978年5月20日）、産業文化姉妹都市・徳島市（徳島県、1982年8月7日）、観光文化姉妹都市・大分市（大分県、1966年10月26日）

姉妹都市の提携に当たり、その契機となった要因は以下述べるように、幾つかに分類できるが、それぞれの場合、単一の要因に帰一させることができない事も多い。それらが明示されている場合もあるし、又、心理的な背景をなしている事もあるだろう。留寿都村と兵庫県養父郡養父町の提携の場合、但馬牛の導入が契機であったが、養父町は第4代北海道庁長官（1892—1896）であった北垣国道の出身地であったことが留寿都村に関心を抱かせたもう一つの要因であったようである。

姉妹都市締結の要因には比較的明瞭な理由が見られるが、それらは単純に並列できるものではないように思われる。たとえば、北海道に農業実習に送った村と受け入れた村との締結が見られるが、北海道が農業地域であるという要因がその根底にある。中標津町の場合、一人の女性が町にやって来て、彼女を受け入れた農家があり、そこで婚姻が行われ、妻が実家のある大阪府枚方市に帰り、その縁で両市町が姉妹都市になっている。この場合農業地域であるという前提があってこの提携が実現しているが、さらには都市と農村の提携という願望もあったことはいなめない。この農業地域であることは、歴史的に開発が遅れたことに帰因するかもしれない。その事自

身、北海道が日本列島の北方に位置することによっている。このように、多くの要因がからみあって現在の北海道があり、また多くの事情を抱えた他都府県の都市との間に締結されたものを幾つかの要因に分類することは必ずしも容易ではないかも知れない。しかし、問題を残してはいることを自覚しつつ、読者の深い理解力を期待して、一応の分類を試みる。

繰り返すが、要因そのものを明確に区別することが出来ないこともあるし、表面に出た要因の外に、様々な感情や社会歴史的要因が働く事があることを忘れてはならない。

近年、姉妹都市の締結が盛んに行われるようになり、それらの新聞記事などを読むと、そこに在来の連帯と性質を異にする新しい種類の連帯が見られるようになって来た。一度、姉妹都市について概観して自治体がどのような志向をもっているのか、その面から考えることも無意味ではなかろうと思ひ、予備的な整理を試みたのが、本稿である。地方の時代などともてはやされて久しいが、自治体が脚下を眺め、自分たちの伴侶を定め、より広い視野に立って市民生活を豊にする一助になればと念じている。

姉妹都市に準ずるものに友好都市がある。法的にも規定があるようであるが、友好関係をとくに指定した自治体を友好都市と呼び、それが発展してより緊密な関係となっているものを姉妹都市と位置付けことができよう。

現在見られるその姉妹都市間の関係を次のように分類してみた。

## ① 歴史的関係

### A 開拓関係

- a 明治維新後の旧武士団との関係    木古内町＝山形県鶴岡市  
市 栗山町＝宮城県角田市    伊達市    登別市    白老町＝ 静内町＝兵庫県洲本市    徳島県脇町    釧路市＝鳥取市
- b その他開拓者の出身地    恵庭市＝山口県和木町    広島町＝広島県東広島市    仁木町＝徳島県川島町    由仁町＝愛知県沼田町＝富山県小矢部市    長沼町＝岩手県水沢市    新十津川

町＝奈良県十津川村 北見市＝高知市 洞爺町＝香川県財田町  
三石町＝福井県大野市 帯広市＝静岡県松崎町

浦河郡浦河町は1996年 6月に熊本県天草郡河浦町と友好姉妹都市提携をする予定であるが、浦河町杵臼は1871年、天草団体が移住開拓している。（NHK、578）

B その他 松前町＝福島県梁川町 滋賀県近江八幡市 上ノ国町＝青森県市浦町 斜里町＝青森県弘前市 白老町＝仙台市  
苫小牧市＝栃木県日光市 東京都八王子市 厚岸町＝山形県村山市

## ② 地理的關係

(a) 津軽海峡を挟む青森県の自治体 歴史的・社会的関係もあるものと思われる。函館市＝青森市 福島町＝三厩村 木古内町＝蟹田町 知内町＝今別町 戸井町＝大間町

(b) 東西・南北関係 稚内市＝沖縄県石垣市 斜里町＝沖縄県竹富町

阿寒町と阿蘇町直接の要因ではないが、南北にも言及している。

1 国立公園指定 1934年 (2)基幹産業が観光と農業 (3)町名に共通する「阿」があげられ、日本列島の南と北、約1,600km隔てた絆に夢を託していると結んでいる。

地理的条件ということとはあまり適切ではないかも知れないが、北方なるがゆえか、あるいは開拓途上にあるため、広大な農地をもつ北海道は援農や農業実習の対象であった。戦時は援農、戦後は実習などで北海道を訪れたことが契機となっている例がある。喜茂別町、風連町、中標津町など。

(c) その他 富良野市＝兵庫県西脇市

## ③ 同一関心をもつ自治体

(a) 人物など

ニセコ町＝長野県信州新町(有島武夫 生馬兄弟) 滝川市＝栃木市(國學院大学)

- (b) とくにその自治体の性格に関するもの。

動植物 黒松内町＝愛媛県野村町 礼文町＝岩手県大迫町  
釧路市＝鹿児島県出水市

- (c) 産業と関係が深いもの 恵山町＝青森県むつ市（恵山、恐山  
姉妹観光地）フラワー都市同士 中富良野町 山形県長井市  
福島県須賀川市 富山県砺波市 福井県武生市 静岡県島田市  
兵庫県宝塚市 福岡県久留米市 鹿児島県和泊町 新得町＝宮  
崎県五ヶ瀬町（むぎ焼酎） 美深町＝福岡県添田町（赤字の国  
鉄枝線を抱えていた）

観光産業 千歳市＝指宿市 恵山町＝青森県大間町 阿寒  
町＝熊本県阿蘇町

- (d) 企業によるもの 奈井江町＝岡山県成羽町 津別町＝山梨県  
櫛形町 音別町＝徳島県鷺敷町

- (e) 特定の行事で共通するもの 南幌町＝京都府京北町 美瑛  
町＝青森県岩木町

④自治体名によるもの

- (a) 同音・同字のもの

同字のもの 松前町＝愛媛県松前町 小平町＝東京都小平市  
この場合 3 市町村以上の自治体が集まる場合が増えている。

池田町＝福井県 長野県 岐阜県 徳島県 香川県 清水町＝  
福井県 静岡県 和歌山県 福島町＝長野県木曽福島町 長崎  
県福島町 上川町＝新潟県上川村 中川町＝長野県 豊浦町＝  
新潟県 山口県

b 同音自治体 月形町＝新潟県月潟町

- (b) その他 ニセコ町＝滋賀県マキノ町 同字に始まる自治体  
愛別町＝神奈川県愛甲町 滋賀県愛東町 長崎県愛野町

⑤都市と農山漁村との結び付き

中標津町は川崎市と友好関係をもっている。それは或る全国的会  
合で、川崎市からの出席者が札幌市の出席者に川崎市民のサナトリ  
ウムの特約を探しているという情報を同町の出席者に伝え、それを



町内で検討し、幾つかの施設を紹介した。花嫁募集ツアー等をして交流を深め、締結に至った。

別海町の酪農家の主婦が大阪府枚方市に帰省したとき、同市役所を訪れ、別海町の状況を話したとき、同市長は都市にとってそのような農村との交流は意義があると思い、それが締結へと導いたことになった。

現在、おふくろの味などとした食堂の料理が必ずしも消費者の母親の料理に似ているものではあるまい。現在の消費者の母親の世代はすでに、給食や生活様式の変化により、いわゆる西欧化したものを子供たちに与えている。おふくろの味と云うものは、母親の料理ではなく、いわゆる、和風の料理である。この場合、おふくろは母親ではない。都市生活者の親が都会生活者の子弟である割合は増加している。ふるさととは自分の、或は親の出身地であるとすれば、大多数の都会生活者のふるさととは都会である。一般にふるさとの概念なり語感とは都会を指してはおらず、いわゆる田舎、農山漁村を意味している。多くの都市生活者はふるさとを喪失している。このような市民にふるさとを都市が提供したいと感じているのではなかろうか。今後、このように大都会が地方の町村と特定の関係を保ち、疑似ふるさとを提供する傾向は増加するのではないかと感じられる。

典型的な例が風連町＝東京都杉並区の場合がそれに当てはまる。杉並区は都会の区民に田園生活を味わう箇所を求めていたと云う。その求めに応じたのが風連町であり、この外数ヶ町村と都市＝田園の連携地区を有していると云う。

⑥双方向的連結から多角的連結へ 静内町＝洲本市 洲本市＝脇町  
静内町＝洲本市＝脇町

大阪府池田市＝池田町は同名・農山漁村との連携

姉妹都市の表を見たところ、上記の関係が見取られたが、何か新しい触れ逢いを求めるものが目立ってきている。この傾向は本道の自治体の特徴というよりは、全国的な傾向のようである。

## 歴史的関係

福井県大野市は「ゆかりのあるまち」として、茨城県古河市ほか、2市2町をとりあげており、そのなかに三石町がある。三石町と大野市は姉妹関係にあるが、姉妹都市にはこのように過去の縁を辿って関係をもつものが多い。(大野市) また、白糠町開基100年を迎えようとする1983年、同町の千葉清町長は「八王子市・苫小牧市・鶴川町および白糠町は姉妹都市の間柄に在る、ともいえよう」と述べておられる。(白糠町、序文) 苫小牧市の項に記載するように、1800年、八王子の千人同心は勇払と白糠、つまり、現在の苫小牧市、鶴川町及び白糠町の屯田開拓に従事した。白糠町から見れば、八王子市が和人による同町の開発の第一歩と不可欠な地位を占めているのであり、白糠町が八王子市に深い親近感をもつのは当然のことと云えよう。このように、歴史的な事象は各自治体にとって最大の関心事の一つであり、多くの場合、重要な歴史的な事象を取り上げて、姉妹都市の提携を結ぶ事象が多い。但し、当事者がどのように考えているかどうかとは別に、本稿では自治体同士の明文化された提携をもって姉妹都市の関係が成立したものとする。原則的にすべての姉妹都市間に提携がなされているものと考えている。

北海道の現在の自治体の発生を一試案として、(a)自然発生的なもの、(b)企業体によるもの、(c)自治体の開基に関係するもの、(d)その他と分類して見た。

- (a) 中世以降、和人の流入は漂流者をも含めて、次第に増加し、その中の北海道への定住者も増加したものと考えられる。古くはそれ等の者は、アイヌ社会に同化したと考えられるが、やがて、和人の集落も独立し、その地位を確保していったようである。いうまでもなく、和人が和人の文化を保持し続けるためには、一定の人口数が確保されなければならない、和人地に最も近い津軽海峡に面した地域から順次沿岸部を北上したものと考えられる。これらの地域は近年も婚姻などを通じて交流は続けられ、強い連帯意識は保持されていると考えられる。今述べたよ

うに、これらの町村間にはいうまでもなく地理的にも近接しているという関係にあるといえよう。

例 福島町＝青森県三厩村 知内町＝今別町 木古内町＝蟹田町 戸井町＝大間町 南茅部町＝佐井町 砂原町＝蟹田町 上ノ国町＝市浦村が挙げられよう。

- (b) 企業体と呼んだものは、幕藩体制下の請負人や明治以降の鉱山を経営した会社などを念頭においた。これらの企業の進出には支配体制と強固な関連があるものもあるが、ここでは請負人が直接の契機となっているものを挙げることができる。明治以降の企業体による関連も理論的には考えられないことはないが、一瞥したところ該当するものとして、奈井江町が進出企業の工場があるという理由から岡山県郡成羽町と友好都市提携の関係にあるという。

例 松前郡松前町＝滋賀県近江八幡市 江差町＝同県能登川町

釧路港を一望できる釧路市米町米町公園の展望台に釧路港修築碑がある。この井伊直忠書の篆額の碑は1909年に大湖会により建立されたものである。大湖会は近江商人の血を引く滋賀県人の団体であり、井伊直忠は井伊直弼の孫に当たる人物である。釧路港改修予算が帝国議会通过したこの年は「首唱開国」で直弼が桜田門外で仆されて50年に当たるとして、直弼の先見性を表す意図をも含めてこの設立に及んだという。彦根藩は親藩であり、近江一国を領してはいなかったが、明治になり、桜田門の変のことをも考慮してか、滋賀県の象徴的人物として、ここに登場している。(釧路市、31－36)釧路市だけではなく、藩政時代から近江商人は蝦夷地で活躍していた。

- (c) 国の開拓計画としたが、時の主権者による拓殖計画による村落、とくに農村の設置に係わる事情に関連するものを指す。幕藩体制下においても、その末期には、たとえば、発寒村や札幌村などのように、農村の設置は促進されようとしたが、それが

内地の特定地区と特定の関係を生じるといった例は見られない。札幌村などは大友堀に関心があるようであるが、その出身地である小田原市との提携にまでは至っていない。

道内においては、明治以降札幌付近より漸次農村の開発が進められた。この間現在の多くの自治体の開基の歴史が記録され尊重された。

ここに、明治維新にさいし、佐幕派に属し、領地を没収され藩士の生活のために北海道で開拓に従事した一団を含める。余市郡余市町の農業は会津藩士の開拓したものとしていられている。これは現在、姉妹関係にはなっていないが、仙台藩の家臣団が道南や札幌などの開拓に従事したことはよく知られている。札幌市に編入された札幌郡白石村は宮城県白石市の白石城主一門、同郡当別町は同県岩手山町の岩手山要害主一門が開拓している。これらの間には現在特定の関係は締結されてはいないが、その他伊達市は宮城県亘理町、山元町、柴田町、福島県新地町と、また、夕張郡栗山町は同角田要害主一門と提携をしている。

樺戸郡新十津川町はその町名が示すようにその母村の奈良県十津川村と関係をもつのは当然といえる。町名といえば、余市郡仁木町は同町仁木地区の開拓の指導者仁木多助の出身地徳島県川島町と姉妹都市である。また、十勝の中心地、帯広市は依田勉三の出身地、静岡県松崎町と関係をもつのは当然といえよう。その他、それぞれの自治体の開拓と関係を有するものが多い。

例 恵庭市＝山口県和木町 札幌郡広島町＝広島県東広島市  
木古内町＝山形県鶴岡市 長沼町＝岩手県水沢市 苫前町＝三重県長島町  
羽幌町＝富山県平村 洞爺村＝香川県財田町 厚真町＝岩手県前沢町  
静内町＝兵庫県洲本市 同県西淡町 徳島県脇町 三石町＝岩手県葛巻町 新潟県能生町 福井県大野市  
帯広市＝静岡県松崎町 豊頃町＝福島県相馬市

- (d) それぞれの地域にそれぞれ独自の歴史がある。その歴史はその周辺の地域と全く無関係の事もあるが、また、偶発的に特殊な地域に限定されることもある。とにかく、ある事象をそれぞれの地域は独自に判断して、特定の事象を採り上げ、それを結節点として姉妹都市提携をしている場合がある。周知の例として苫小牧市＝東京都八王子市の場合を挙げることができよう。八王子の千人同心が北方警備の拠点として勇払と白糠を選んでいる。苫小牧市はこの歴史を尊重し東京都八王子市と提携し、更に群馬県日光市とも提携している。これらの事情についてはそれぞれの歴史を参照すれば、北海道の地理的・歴史的特異性が観察されるものと期待される。

例 苫小牧市＝東京都八王子市 白老郡白老町＝仙台市 厚岸郡厚岸町＝山形県村山市

静内町の開基と稲田家との関係は無視できない。幕藩体制下の稲田家の本拠地、洲本市は静内町にとって無視出来ない存在であり、1973年に姉妹都市の締結をしたが、その後、蜂須賀家＝徳島藩体制下での稲田家の出発点、脇町との三姉妹都市関係が成立した。これは『要覧』が歴史的関係としてとりあげている。しかし、その他に歴史的関係として取り上げた項目はないが、芭蕉ゆかりの提携都市など、歴史をゆるく考えれば、この範疇に入れることが出来るかもしれない。

自治体の開拓に当たり、新十津川町や木古内町のやうに、特定の団体がその自治体の形成に当たり、中心的地位を占めるものがあれば問題はないが、特定の地位を占める自治体がない場合には、自治体内のどの集落や団体を取り上げるかが問題になりうる場合もありえよう。新聞記事でそのことを指摘したものもある。そのような場合、ある集落、あるいは、開拓団体がとくにその母体と現在どの程度の交流が行われているかが問題になりうる場合もあろう。母村との交流が継続していたかどうかは別にして、相手の自治体が反応してくれなければ、姉妹関係

は成立しえない。複雑な母村を有する場合の選択に関しては、少し追及すれば、自治体間交流の力学が解明できる可能性もあるろう。

調べているうちに、少し意外に感じたことに津軽海峡を挟む自治体の関係が長く、相互交流があり、自然に結びついたものと考えていたが、姉妹都市の提携と云うことにかんしては新しい時点の事件を問題としていることが判明した。これは次項で触れることにする。

### 地理的關係

3 項目に分類して考察したい。

(a)津軽海峡を挟むもの (b)東西南北関係 (c)その他

(a) 津軽海峡を挟むもの

北海道は本州と津軽海峡を挟んで対面している。海は人間にたいして、隔離的に作用すると共に連結的な作用も行っている。海流は海岸に多くの漂流物をもたらすが、津軽海峡は古代の人々の日常生活には隔離的な役割を果たしたに違いない。我々の知るアイヌと和人の古い接触の時代には両者間に技術段階には相当大きな段差が見られたように思われる。北海道に渡った和人は大局的に見て和人文化を北海道に移植していったといえよう。本州を後に渡道した和人にとって、事業家としての目は彼等の辺境である北方を向いていたとしても、本州はその故郷であり、心のより所であったに違いない。そして、現在はより近くなった本州は婚姻などを通じて盛んに交流は行われているようである。津軽海峡を挟んだ両地域は先述のように歴史的にも地理的にも深い関係を保っている。

ここでは再度海峡を挟んで対面している地域について述べることは避けるが、近年姉妹関係を結んだ一例だけを採り上げよう。明治以降、とくに北海道への出発点として重要性をました青森市と北海道の玄関口である函館市との関係は青函連絡船の

周航によりより緊密度を増していった。東京その他大都市と札幌との旅客の輸送は航空機に奪われ、青函の地位は低下していったが、青函トンネルの開通により函館・青森両市はその関係を改めて眺める機会をもつに至ったと考えられる。それを契機として、両市は Twin City としてその関係を世に問うに至った。両者の関係は地理的な位置により生まれたものであろうが、トンネルの開通を契機として生じたものであるので、津軽海峡を挟む自治体の例としてここに採り挙げた。

歴史的関係(a)参照。

(b) 東西・南北関係

北海道は日本最北と地であると共に、その最東の地でもある。北海道にはその点を掲げて姉妹提携をした町村が見られる。稚内市、根室市の項でも触れているが、この両市と長崎県北松浦郡小佐々町と鹿児島県肝属郡佐多町は、日本本土東西南北市町の盟約を、四極交流盟約として締結している。（『要覧』591）斜里郡斜里町＝沖縄県竹富町の関係は東西関係を意識した関係と考えられる。また、阿寒町は姉妹都市として、熊本県阿蘇町を選んでいるが、この場合、国立公園や阿で始まることに加えて、その位置が南北にあることを強調している。

(c) その他

富良野市には北海道緯度観測の原標があり、北海道の地理上の中心地を標榜していた。明石市を通過する東経135°は日本標準時子午線である。同線上にあり、さらに北緯35°上にある西脇市は本州の中心地を自負し、それぞれ北海道と本州の臍と称している。本州と北海道が対等かどうか問うところではなく、両市は姉妹都市提携をしている。

**自治体名によるもの**

(a) 同名及びそれに類するもの

地名がそれぞれの土地を表すものであり、同じ地名の存在

は好ましいものではない。かつては比較的狭い範囲の生活している時には問題にならなかった遠距離にある同名の土地も、生活圏が広まるにつれて、問題を生ずるようになってきた。近年、茨城県鹿島郡鹿島町の昇格にあたりその名称を鹿島市にすることにたいして佐賀県に鹿島市があるため、市名が問題化した。自治体名でも市の場合には全国に同一名があることは問題になり得るが、町村の場合は問題視されていない。全国には相当数の同一名称の町村があるようである。この様な同名の町村の存在はそれぞれ該当町村では親近感を覚えるのか、また、同名と言うことはそれらが共通の語源である可能性も大きく、歴史・地理的に共通性を見出すことも多い。現在姉妹都市である東京都と山口県の府中市はともにかって国府の所在地であった。それらの町村にたいして特定の関心を持ち、やがて特定の関係に発達する可能性がある。例えば豊浦町の場合、同町は漁業を基盤とする町で、豊漁を意味する名称である。同名の町村は山間にあるよりは沿岸に位置する可能性が大で事実豊浦町が友好関係をもつ新潟県及び山口県の豊浦町もそれぞれ日本海に面しており、共通の問題や話題はあろう。上川町＝新潟県上川村の場合それぞれ、石狩川と越後川の上流部に位置しており、共通の話題を有してはいるが、新潟県の場合、村の合併に伴い、3村の名称を合体して創造したものであることは面白い。しかし、この新名称が越後川の上流部に位置しており、自治体の名称にふさわしいことには変わりない。近年はそのような幾つかの町村がサミットと称して集まることが流行しているようである。その例として、池田町と福井県、長野県、岐阜県、徳島県及び香川県の池田町との姉妹関係をあげられる。その他、清水町と福井県、静岡県及び和歌山県の清水町との提携がある。北海道に釧路市と釧路町があるように、静岡県には清水市と清水町がある。この場合清水市はこの関係にはなく、室蘭市と



姉妹提携をしている。

月形町は同音の新潟県月潟村と提携しているのも、これに類するものであろう。

初期に締結された姉妹都市はそれまでに強い紐帯のあるものが、そのまま姉妹提携を結んだ例が多いが次第に提携以降の紐帯をもとめて提携する傾向が見られる。つまり、姉妹であるので、それを明文化していたものから将来の姉妹関係を求めて関係を結ぶ傾向が見られる。

深い紐帯がある場合、近くにあれば実際の兄弟姉妹のように協力しあって、目的に推進する事ができよう。また、遠距離にある場合は、それこそその紐帯の関係を確かめ合うと云うことになるだろう。

何時提携をするかと云う時点では、市制とか町政施行時やその10周年記念など、それぞれの自治体の記念すべき時を契機に発案あるいは締結される事が多いように思われる。また、雪祭りなどの催しに使節の交換などがあり、そこから交流が始まることも見られた。

## 資料

○道内自治体 ◇姉妹都市 △友好都市他

◆▲共通する注記事項のある自治体

### 石狩支庁管内

○ 江別市 えべつし 市に江別市都市提携委員会と市民交流団体の土佐会がある。

◇ 高知県土佐市 とさし 1959年、市制20周年記念に友好都市提携を決め、(1)人口10万人以内 (2)市制施行20年を経過 (3)産業その他で土佐市と異なる都市を基準として幾つかの候補都市を選んだ。その中で、江別市は(a)南北に位置する (b)市制施行時の人口がほぼ同じ (c)江別の発展経過等を考慮し、友好都市の

提携を申し出た。当時、土佐市は人口30,700人、高知市に隣接する農業都市で、和紙の製造なども行っていた。江別市としては、形式に囚われず、農業青年の交流等で気楽に付き合うこととし、江別開基100年記念式の前日、盟約に調印した。(江別市, 501~102)

- 千歳市 ちとせ 支笏洞爺国立公園の支笏湖が市域に。
  - ◇ 鹿児島県指宿市 いぶすき 市域の大部分は霧島屋久国立公園に含まれ、池田湖がある。(K46,709) 1973年指宿市の「菜の花キャンペーン」で菜の花等を千歳市の子供に贈ったことから交流開始。1977年、ミス指宿の来訪の時「氷濤まつり」への参加を要請。1981年以降、同市関係者の氷濤まつりへ参加。1992年、指宿市から千歳市に「指宿アロハまつり」への参加要請と姉妹都市提携への打診があり、1994年協定成立。

「氷濤まつり」と「アロハまつり」に示されるように、両市は暖地と寒地の相違はあるが、観光都市としての性格が一致。千歳市には支笏湖がある。

- 恵庭市 えにわし 1886年の山口県人の開拓に始まる。
  - ◇ 山口県玖珂郡和木町 わきちょう (PE35,717恵庭市)
- 札幌郡広島町 ひろしまちょう 1996年9月市制実施、北広島市とする予定。和田郁次郎は広島村の開村当時の指導者。(広島町, 43-84, K1-1,1269, K1-2,579, PE01-2,486, NHK,1269)
  - ◇ 広島県東広島市 ひがしひろしまし。
- 厚田郡厚田村 あつたむら 石川県を始めとする北陸出身者が多い。
  - △ 石川県鳳至郡門前町 もんぜんまち 曹洞宗総本山総持寺があった。望来や正利冠には石川県団体が1894年に入植。K1-1, 1511。  
1989年、門前町で開かれた「日本海・文化交流会議」に厚田村から出席したのを契機に1991年締結。

### 渡島支庁管内

- 函館市 はこだてし
- ◇ 青森県青森市 あおもりし  
青函連絡船で繋がれていたが、青函トンネルが開通した。  
Twin Cityと称する。
- 松前郡松前町 まつまえちょう 松前氏の本拠地1900年，1級町村制施行。福山町に。1940年，松前町と改称。的前 まとまい 婦人のいる沢（PEO1-2, 718）
- ◇ 福島県伊達郡梁川町 やながわまち 1807年，松前章広を陸奥梁川に移す，封 9,000石。1821年，松前復帰。（H7,746）
- ◇ 滋賀県近江八幡市 おうみはちまんし 八幡商人は早くから松前に。岡田八十次，西川伝右衛門などが進出，漁場を開く。元久2年1205，愛知郡の商人といわゆる両浜組を組織，松前藩の保護を得て蝦夷地開発に従事。（PE25,599）八幡町（滋賀県蒲生郡）・編，1940，『滋賀県八幡町史』上，同町。
- ◇ 愛媛県伊予郡松前町 まさきちょう 伊予灘に面する町。中世以来の郷村名を町名。（K38,840）
- 松前郡福島町 ふくしまちょう 折加内と呼ばれていた。Horokanay潮が入ってきて河水が逆流する川との意味。福島川が河口付近が窪地になっていて，河水が入り込んでいたことを呼名とした。1624年，月ノ崎観音堂（現・月崎神社）の神託により福島村と改名する事を藩に願い出た。福島については，当時の藩の所在地が福山と呼ばれていた事に対するものか，対岸の津軽地方の福島を吉祥字として吸収してのか等は不明。吉岡海底駅がある。（福島町山田, 435）
- △ 青森県東津軽郡三厩村 みんなやむら  
青函トンネルの工事の時，本州側，北海道側の最前線の作業場があった。竜飛海底駅がある。トンネル開通を記念して締結。
- ▲ 長野県木曽郡木曽福島町 きそふくしままち 木曽路の宿場名福島による。沖積地を表す島に雅称福を冠したものか。中世戦国期に

見える。木曾郡の中心地。御嶽の登山口。K20,965,1413,H-20,534.

▲ 長崎県北松浦郡福島町 ふくしまちょう 中世以来の島名による。フクが水の湧出す意であることから、水の豊富な島であったため名付けられたものと推定されている。鎌倉期から見える地名。K42, 846-847, 1247.

北海道の福島町が全国の 3 町に呼び掛け締結。

- 上磯郡知内町 しりうちちょう 湯の里に知内駅がある。
  - △ 青森県東津軽郡今別町 いまべつまち 大川平に津軽今別駅がある。現在蟹田町、砂原町と木古内町とで 3 町協議会を行っている。
- 上磯郡木古内町 きこないちょう 1882, 函館県士族移住取扱規則。(R80-82, PE01-1, 128)

△ 青森県東津軽郡蟹田町 かにたまち JR津軽海峡線本州側の最後の駅は蟹田駅、北海道側の最初の駅は木古内駅で隣駅をもつ関係が生じた。

- ◇ 山形県鶴岡市 つるおかし

1885～1886年にわたり、旧大泉県（鶴岡藩の廃藩置県後の名称）士族105戸、545人が木古内町内に帰農入植、鶴岡と命名。1964年、鶴岡市史編纂委員の来町が契機となり木古内町の鶴岡小学校と鶴岡市朝陽小学校とが姉妹校となり交流をするようになった。1985年鶴岡地区開基百周年・鶴岡小学校開校百周年・新校舎落成記念会の 3 大行事にあたり鶴岡市から市長一行が来町、1986年提携。(R,80—82)

この移住は函館県移住士族取扱規則によった。(北海道, 782—788) 釧路市鳥取の場合はほぼ同趣旨の根室県移住士族取扱規則による。

なお、1869—1876開拓使に判官、大判官として勤めた松本十郎(1839—1916)は鶴岡藩士であった。

木古内町史編さん委員会・編, 1982, 『木古内町史』, 同町。(木古内町669—686, PE01-2, 725, KD 9, 281—282 PE06, 873)

- 亀田郡戸井町 といちょう

- ◇ 青森県下北郡大間町 おおままち 大間岬は本州最北端の地。  
両町間の距離は本州と北海道との最短18.6km. 本州北海道連絡橋, 大間戸井ルート誘致推進協議会がある。(PE02,152)
- 亀田郡恵山町 えさんちょう
  - ◇ 青森県むつ市 むつし  
津軽半島を挟んで対面する自治体. 恐山と恵山がある観光姉妹都市.
- 亀田郡楡法華村 とどほけむら 下北半島の町村とは交流があった。
  - ◇ 青森県下北郡風間浦村 かざまうらむら 1989年風間浦村村制施行百周年を迎え, 友好村を検討。  
函館下北連絡協議会の仲介により提携.
- 茅部郡南茅部町 みなみかやべちょう 1718年, 旧臼尻村横瀬に南部佐井村の東出多五右衛門が来住. 現在も佐井出身の子孫が多い. なお, 同町旧尾札部村には1677年, 能登の飯田屋与五左衛門が佐原より八木浜に来住. (南茅部町史, 181)
  - ◇ 青森県下北郡佐井村 さいむら 1803年, 幕府は佐井藩一箱館航路を本筋と定めた。(H2,256)
- 茅部郡砂原町 さわらちょう 1532年, 権四郎が現会所町に来住, 開基となる。
  - ◇ 青森県東津軽郡蟹田町 かにたまち 権四郎の出身地. 木古内町とは友好都市。  
開基百年に当たり提携.
- 茅部郡森町 もりまち おにうし 木の多く生えている所の意識。
  - ◇ 静岡県周智郡森町 もりまち 守の君の名から出たと言われる。  
森村, 森町, 森町村など称されていた。(PE01-2,797,森町, 20—21,214—216)

#### 檜山支庁管内

- 檜山郡江差町 えさしちょう 中村家はじめ10戸の近江商人が活

躍.

- ◇ 滋賀県神崎郡能登川町 のとがわちょう 町民は江差町で近江商人が活躍していたことを知っていたので、江州音頭を披露に来た。

江州音頭の来訪以来民間交流が続く。

- 檜山郡上ノ国町 かみのくにちょう 1454年頃、町内の花沢館に和人の蝦夷管令の安東政季武田信広ら従えて、津軽から蝦夷に来島、蠣崎季繁の客将となった信広は季繁の女を娶り、その家を継ぎ、和人勢力の中心となる。
- ◇ 青森県北津軽郡市浦村 しうらむら 蝦夷管轄、十三安東氏の本拠地、福島城があった。(PEO2,H2,566—587)
- 奥尻郡奥尻町 おくしりちょう 1993年北海道南西沖地震の被災地。
- ◇ 兵庫県津名郡北淡町 ほくだんちょう 1995年阪神大震災の被災地。

#### 後志支庁管内

- 寿都郡黒松内町 くろまつないちょう 歌オブナ林は北限自生地で、ブナ北限の里づくり構想がある。町木：ブナ。
  - ◇ 愛媛県東宇和郡野村町 のむらちょう 四国カルストにスギ、ヒノキなどがあるが、もっとも保護を必要とするのはブナであると認識。(K38,1018—1023)
- 1988年、黒松内町がブナフォーラムを行ってから交流が進んだ。
- 虻田郡ニセコ町 にせこちょう 1901年、真狩村戸長役場から狩太村戸長役場分離。1906年、2級町村制施行。1950年町制。1964年、ニセコ町と改称、前年、ニセコ積丹小樽海岸国定公園が設定され、ニセコの名が知られるようになったため。(PE01-2,292,K1-2,898)

町内に有島武の有島農場があった。その長男、武郎はそれをモ

デルとして、『カインの末裔』を書いた。後、有島記念館や有島記念公園がつくられた。（K1-2,897—898）

- ◇ 滋賀県高島郡マキノ町 まきのちょう 1946年、4村合併。町制施行にあたり町内にあるマキノスキー場に因み片仮名表記に。1446年の記録にまきのあり、村民が牧畜を営んだためと云われる。（H25,1059,ニセコ町,751—753,R82—83）

ニセコ町史編さん委員会・編,1982,『ニセコ町史』,同町。

751—753

- ◇ 長野県上水内郡信州新町 しんしゅうしんまち 武郎の弟、有島生馬 本名 壬生馬 （1882,11,26—1974,9,15） 1950年以降度々訪問、生馬の記念館がある。

- 虻田郡真狩村 まっかりむら 村立農業高校の実習地に先進地域の 大野原町を選んだ。

- ◇ 香川県三豊郡大野原町 おおのはらちょう 真狩村の村長 岡田真二郎や農地委員長 藤川次平の出身地。

- 虻田郡留寿都村 るすつむら 但馬牛を導入した。

- ◇ 兵庫県養父郡養父町 やぶちょう 但馬牛生産・販売の中心地,第4代北海道庁長官 （1892—1896）北垣国道（1836—1916）第の屋敷跡が残る。（PE28,481）

- 虻田郡喜茂別町 きもべつちょう 1955年から高校の農業実習を受け入れた。

- ◇ 香川県大川郡寒川町 さんかわちょう 石田高校生が農業実習を受けた。

- ◇ 大分県竹田市 たけたし 九州アルプス山麓,岡7万石の城下町。1967年,長野県中野市,仙台市と音楽姉妹都市。（K44,949）

- 虻田郡倶知安町 くっちゃんちょう 1923年,新品種 蝦夷錦 を生みだすなど薯の町。

- ◇ 鹿児島県揖宿郡山川町 やまがわちょう 1705年,岡見ヶ水の人,前田利右衛門が本土で初めて琉球から種苗を移入した甘藷発祥の地。（K-45,853,PE45,907）

- 岩内郡岩内町 いわないちょう
  - ◇ 新潟県上越市 じょうえつし 直江津市と高田市が合併。1990年  
来のフェリー航路が、1996年3月九州に延長される。直江津港  
は夷船京船群集しと殷盛を示した。(直江津町史, 383, わが町の  
歴史・上越, 37)
- 余市郡仁木町 にきちょう 1879 仁木竹吉引卒の阿波団体が仁木  
に入植。(加納-2, 134-143)
  - ◇ 徳島県麻植郡川島町 かわしまちょう 竹吉 1834-1915 の出  
身地。

### 空知支庁管内

- 滝川市 たきかわし 1982年 國學院女子短期大学(現・國學院短期  
大学)開学。
  - △ 栃木県栃木市 とちぎし(友好親善都市)國學院大学栃木短期大  
学がある。  
滝川市は短期大学の設立に当たり、理事者や議員が1966年に  
開学した栃木短期大学がある栃木市を度々訪問した。(R, 79-80)
  - ◇ 沖縄県名護市 なごし 両市の青年会議所が、児童に違う風土  
を体験させるための相互訪問を実施したことから締結に発展し  
た。
- 空知郡南幌町 なんぼろちょう 1989年 はまなす国体でクレ-射  
撃競技が行われた。(町, 2-298)
  - ◇ 京都府北桑田郡京北町 けいはくちょう 前年の京都府国体でク  
レ-射撃競技が行われた。
- 空知郡奈井江町 ないえちょう
  - ◇ 岡山県川上郡成羽町 なりわちょう  
町が誘致した企業の工場の開所式に、姉妹工場ある成羽町の  
町長の来町が契機。(奈井江-1, 247-250, 487)
- 夕張郡由仁町 ゆにちょう 1894年、三川に加藤農場開設。東三川、



- ◇ 愛知県碧南市 へきなんし 加藤農場主，加藤平五郎の出身地  
旧碧海郡大浜村 1860，12，29—1925， 7， 2．（東三川，81）  
（町，499—501）。
- 夕張郡長沼町 ながぬまちょう 吉川鉄之助 長沼村初代戸長。
  - ◇ 岩手県水沢市 みずさわし 鉄之助の生地。
- 夕張郡栗山町 くりやまちょう 石川邦光の家臣団は室蘭郡へ移住  
がはかばかしくなく，同町角田に移った。同町は角田村と呼ばれ  
ていた。栗山町史編さん委員会・編，1989，『栗山町史』1，（栗  
山町，105—127）
- ◇ 宮城県角田市 かくだし 1870年，角田要害主，石川邦光の旧臣，  
室蘭郡へ移住。

1955—65年にかけて，農業労働力不足時に援農の為，来町が  
あった。農業青年の往来や結婚移住もあり，角田市の高校生が  
修学旅行時に同町に立ち寄るなど交流が続いた。1980年は角田  
市制施行20周年，栗山町開基90周年に当たり，姉妹都市提携を  
した。

1985年，白老町で札幌市白石区，室蘭市，登別市，伊達市，  
石狩郡当別町，白老町と栗山町の1区3市3町で仙台藩サミッ  
トを開催した。1986年にはそれに宮城県の仙台市，白石市，角  
田市，玉造郡岩出山町，亶理町が加わり仙台市で開催。「仙台藩  
サミット」，同，564
- 樺戸郡月形町 つきがたちょう 1881年，樺戸集治監開庁。同年，月  
形村設置，村名は初代集治監，月形潔（1847—1894）に因む。（K1  
-1，988）
- ◇ 新潟県西蒲原郡月潟村 つきがたむら 伝承によれば，阿部忠昭  
が一族を率い，永禄年間（947—1570）当地の湖沼荒地を開拓し  
村落を興し，湖に月の映ずるを引用して月潟と名づけた。（月  
潟村誌，16）散在した潟沼の形に因むと云う。（K15，873）

1751年から専業の軽業の芸能集団。1811年越後獅子，角兵衛。  
（PE15A，186）

- 樺戸郡新十津川町 しんとつかわちょう 1890年, 新十津川村戸長役場設置. 十津川郷花岡村長更谷喜延着任.

「新十津川」の村名は1889年11月29日滝川屯田兵村において決定. 道庁へ上申された. 故郷の名称の頭に「新」を冠して植民地における自己の居住地の名称とする例はアメリカの各地においても少なくないといわれるが「新十津川」の名称は単なる郷愁のあらわれではなく, その担い來た文化を持ち続けようとする強い希求にほかならなかった. (新十津川町, 246)

- ◇ 奈良県吉野郡十津川村 とつかわむら 1889年, 十津河崩れ. 被災民北海道移住. (K29, 1444)

- 雨龍郡秩父別町 ちっぶべつちょう 24道県からの屯田兵のうち, 香川県出身者はその1/5, 83世帯を占め, 6世帯が綾南町出身者であった. (秩父別, 441—442)

- ◇ 香川県綾歌郡綾南町 りょうなんちょう 久保太郎右衛門の家系を調査中, その子孫が秩父別屯田にいたことが判明. (秩父別町, 442)

- 雨竜郡沼田町 ぬまたちょう 沼田喜三郎により開拓された.

- ◇ 富山県小矢部市 おやべし 喜三郎の出身地.

- 雨竜郡幌加内町 ほろかないちょう 1983年, 朱鞠内湖を通る電話ケーブルが敷設され, 母子里地区全戸に電話設置が可能となった時, 牛窓町に記念通話した.

- ◇ 岡山県邑久郡牛窓町 うしまどちょう 瀬戸内海に臨み, 前島へ海底ケーブルが敷設されている.

#### 上川支庁管内

- 富良野市 ふらのし 北海道の中心部にある. 緯度観測地の記念碑があり, 北海道の臍と称している.

- ◇ 兵庫県西脇市 にしわきし 東経135° 北緯35° 日本のへそ 北海道中央緯軽度観測標. 1909, 1910, 京都大学理学部で地球重力の測定, 天体観測, 緯軽度などの設立のために機器を据え付け

た所。富良野小学校の校庭にある。（富良野, 194）

（K28, 91—97, PE28-2, 411）

- 上川郡愛別町 あいべつちょう 北海道の愛別町は1906年、上川郡のうち、鷹栖村、永山村の一部で成立。Ay pet矢川の音訳を村名とした。1961年、町制。（K1-1, 31, -2, 709）

- ◇ 神奈川県愛甲郡愛川町 あいかわまち 中津川の別称、鮎川による。（K14, 1291）

- ◇ 滋賀県愛知郡愛東町 あいとうちょう 愛知郡の東部にあり、従来愛東地区と呼ばれていた。K25, 873—874. 日本書記 645年に朴市とあり、エチと云う地名の存在が推定される。H25, 737.

- ◇ 長崎県南高来郡愛野町 あいのまち 1899年、愛津村と野井村が合併。頭文字をとり村名に。1949年、町政。「愛の…」と人気を呼んでいる。（K42, 1349. PE42, 2—3）

愛に始まる町名をもつ全国の4自治体が提携、1988年2月14日のバレンタインデーに、愛東町の女性メンバーが3町の町長宛に手紙を添えてチョコレートを贈った。それぞれの町も返礼をし、町同士の交流が始まる。（R, 83—85）

- 上川郡上川町 かみかわちょう 1924年、愛別村から分離。石狩川最上流にある。かつてPena unkur上流人の村とも称された。1952年、町制。（K1-1, 381, K1-2, 721, NHK, 319）

- ◇ 新潟県東蒲原郡上川村 かみかわむら 常浪河上流にあり上川郷と呼ばれた。1954年上条、西川、東川の3村が合併、村名の1字ずつをとり新村名とした。（PE15, 464）

同名のよしみ 上川町開町90周年記念と上川村成立30周年記念に当たる1984年締結。（R 85—86.）

- 上川郡美瑛町 びえいちょう

- ◇ 青森県中津軽郡岩木町 いわきまち

共に三笠宮杯スキーマラソンを開催。

- 空知郡中富良野町 なかふらのちょう ラベンダー農場。（K1-2, 753）

- ◆ 山形県長井市 ながいし

- ◆ 福島県須賀川市 すかがわし
- ◆ 富山県砺波市 となみし
- ◆ 福井県武生市 たけふし
- ◆ 静岡県下田市 しもだし
- ◆ 兵庫県宝塚市 たからづかし すみれ
- ◆ 福岡県久留米市 くるめし
- ◆ 鹿児島県大島郡和泊町 わどまりちょう ユリ, フリージア等の花卉栽培が盛.

フラワー都市の交流

1983年 4月28日結成された同協議会に中富良野町は1988年5月に加入.

- 上川郡風連町 ふうれんちょう 天塩川上流の農村.
- ◇ 東京都杉並区 すぎなみく 農村に連帯を求めた.  
杉並区の希望を知ったある代議士が, かつて援農で来村した風連町を紹介した.
- 上川郡美深町 びふかちょう 宗谷本線の支線美幸線の始発駅であった.
- ◇ 福岡県田川郡添田町 そえだまち 日田彦山線の支線添田線があった.  
国鉄のなかの有数の赤字廃止予定路線があった.
- 中川郡中川町 なかがわちょう 郡名を町名に. 手塩川の中流地域.
- ◇ 長野県上伊那郡中川村 なかがわむら 古く 天の中川 と称した天竜川が流れている. (K20,796,1352)

留萌支庁管内

- 留萌郡小平町 おびらちょう 1919年留萌町から分離. 小平薬村. 江戸時代からヲシラシベツの呼称. *Opira us pet* 川口に崖がある川の意. 1948年, 村名を小平村に. 1966年, 町制. (K1-1,321~322, K1-2,1253~54, NHK,378, 山田,130)
- ◇ 東京都小平市 こだいらし 小川町の小に平な地形であるので平

を付した。（K13,1054）

- 苫前郡苫前町 とままえちょう 同町長島は1896年三重県桑名郡長島村と木曾崎村から移住した長島団体が開拓。（K1-2,1031）

- ◇ 三重県桑名郡長島町 ながしまちょう

1893年以来、毎年入植していた香川県からの移民の後続者に、1896年、古丹別原野の区画測設事業に基づき、国有未開地の貸付けが行われ、大量の開拓者が入植して来た。その主力は三重県出身の長島団体、伊曾島団体、三重団体である。この前2者は木曾川河口の隣接した地域からの農民により構成されていた。長島町はその母村と云える。（苫前町, 230—235）

- 苫前郡羽幌町 はぼろちょう 平は富山県民の開拓地。（K1-2,1273）  
齊藤知一ら、加賀の漁法を北海道へ導入。天塩捕鯨場ができる。  
北町 鯨の解体処理場があった。（NHK,384,板橋, 75-76）

- ◇ 富山県東礪波郡平村 たいらむら 平の移住民の郷里。

- ◇ 石川県河北郡内灘町 うちなだまち 捕鯨業者。（K1-1,1181）

### 宗谷支庁管内

- 稚内市 わっかないし 日本最北端の市 宗谷岬 本土最北端 世界平和の鐘。

- △ 沖縄県石垣市 いしがきし 日本最南端の市 世界平和の鐘。  
（PE47-1,255）

1983年2月、氷雪の広場に石垣市長の電話メッセージがあり交流が始まった。両市はともに海に面し漁業・観光等産業構造も似ており友好都市の締結に至った。共に世界平和の鐘があり、6月23日沖縄慰霊の日と8月26日樺太慰霊の日には、両市で同時に鐘を撞く。

『要覧』四極交流盟約（日本本土東西南北市町の盟約締結1991年5月3日）（519）

東 根室市 西 長崎県北松浦郡小佐々町神崎鼻  
南 鹿児島県肝属郡佐多町佐多岬

- 枝幸郡中頓別町 なかとんべつちょう 1890年頃, ペーチャン川に砂金掘りの人々が殺到. やがて資源の枯渇により去って行った. 楢原民之助は留まり開発を始めた.
- ◇ 広島県豊田郡東野町 ひがしのちょう 楢原の出身地.
- 礼文郡礼文町 れぶんちょう 町花 エゾウスユキソウ.
- ◇ 広島県豊田郡豊町 ゆたかまち 瀬戸内海の大崎下島の東部. 島同士.
- △ 岩手県稗貫郡大迫町 おおはさまちょう 町花 ハヤチネウスユキソウ オーストリアのBerndorf市とも姉妹都市 ハヤチネウスユキソウがエーデルワイスと似ていることによる.  
(PE03,352)  
町花: ウスユキソウ (キク科多年草)

#### 網走支庁管内

- 北見市 きたみし 高知県の北光社は結社移民団体で, 1896年にクンネップ原野に入地開拓.
- ◇ 高知県高知市 こうちし 北光社の高知県との関係で高知市を選び提携.  
『要覧』1993年10月23日全国菊人形開催地連絡協議会に加盟.  
5市町と7市の観光協会等が加入. (520)
- 網走郡女満別町 めまんべつちょう
- ◇ 東京都稲城市 いなぎし  
東京女満別会が仲介に当たり, 児童の交流が始まった.
- 網走郡津別町 つべつちょう 企業誘致.
- ◇ 山梨県中巨摩郡檜形町 くしがたまち 津別町が誘致した企業の本社所在地.
- 斜里郡斜里町 しゃりちょう 本町の町立知床博物館に隣接して姉妹町友好都市交流記念館があり, 交流を促進している. 日本の最東北に位置する.
- ◇ 青森県弘前市 ひろさきし 幕末期弘前藩士が蝦夷地警備の為,

斜里に駐屯した。本町の禅龍寺に1809年のシャリ場所死亡人控えがあり、その隣の町民公園に「津軽藩士殉難慰霊碑」がある。ねぶたを繰り出して祭典を行う。なお、ねぶたは渡島管内八雲町の祭礼にも行われている。（PE02,794）

◇ 沖縄県八重山郡竹富町 たけとみちょう 日本最南端の地方自治体。（R,87—88. PE47-2,698）

○ 常呂郡訓子府町 くねっぶちょう

◇ 茨城県真壁郡関城町 せきじょうまち（教育姉妹都市）1966年農業構造改善事業・親子契約等で朝日農業賞を受賞。（PE08,601—602）

1974年 関城町農業後継者国内研修生が北見地区を訪問、訓子府高校「新星寮」で交流会を実施。北見地区青年国内研修生（訓子府町からは3名）が訪問。以後交流が続く。1988年、両町教育委員会で「教育姉妹町締結」を全会一致で議決。

○ 常呂郡常呂町 ところちょう 1895年高知団体入植。土佐の開基。（K-1-1,959）

◇ 高知県高岡郡佐川町 さかわちょう 尾川村、黒岩村（現、佐川町、但し、黒岩村の一部は高岡郡越知町に編入H40, 439, 441）出身者で高知団体結成。常呂町、239—243

1985年、90周年式典を挙行。佐川町長など来賓として来町。

### 胆振支庁管内

○ 室蘭市 むろらんし

◆ 静岡県清水市 しみずし 静岡県内の清水町のはいつている清水町間の姉妹都市群には加入していない。

◆ 新潟県上越市 じょうえつし 室蘭、清水とあわせてトライアングル姉妹都市。

港湾工業都市同士

○ 苫小牧市 とまこまいし 勇払に千人同心の遺跡公園あり。（PE01-1,966）。

◇ 栃木県日光市 にっこうし

◇ 東京都八王子市 はちおうじし 1800年, 千人同心頭原半左エ門及び弟新助, 組同心の子弟百人を率いて勇払と白糠に屯田.  
(K13,1085)

千人同心が日光警備にも当たっていたこともあり, 苫小牧, 日光, 八王子の 3 都市で 3 姉妹都市となった.

なお, 釧路管内白糠町を参照.

○ 登別市 のぼりべつし 旧巴主は札幌郡白石村(現札幌市白石市)に移った.

◇ 宮城県白石市 しろいし 1870年, 旧仙台藩白石要害主片倉邦光が幌別郡支配.

登別市の荻田神社は白石市の荻田嶺神社と姉妹神社.

1995年, 「災害時における相互援助に関する協定」を結んだ.

○ 伊達市 だてし

◇ 宮城県亶理市 わたりし 伊達邦成家中全員有珠郡の屯田開拓.  
(PEO4,1111)

◆ 宮城県亶理郡山元町 やまもとちょう 亶利藩領. (PEO4,1065)

◆ 宮城県柴田郡柴田町 しばたちょう 柴田意成, 胆振に移住失敗.  
(H4,152)

◆ 福島県相馬郡新地町 しんちまち 亶理伊達氏の知行地.  
(K7,1109)

◆ 船岡要害の柴田氏の知行地. 他の 3 町は亶理伊達氏の知行地.  
(PE08,1074) 第 1 回の移民団に柴田氏家臣 5 戸も加わっていたという. (伊達市, 250) その開拓地は船岡要害をしのび船岡と命名されたと推定されている. (K1-2,1299)

○ 虻田郡豊浦町 とようらちょう 1932年, 豊漁を祈念して弁辺村を豊浦村と変更した.

△ 新潟県北蒲原郡豊浦町 とようらまち 1953年施行の町村合併促進法により, 純農村として発展することが望ましいとの見解により中浦村と本田村の二カ村合併が, 1955年 3 月 31 日新村豊浦村が



できた。新設合併の新村名は両村の利害特に共通な福島潟の名称を仮称として採用した。その後、村名を一般から公募。豊浦村の名称は、他にさしさわりなく響きもよい。同村はその昔、豊田の庄に属し福島潟の沿岸を集落となし発達して来た土地である。このように海沿いの地で、下越の穀倉地帯を占める豊穰の地である本村の昔を偲び、現在を考えると、「豊浦」と呼ぶことはまことに名実ともに当を得たものであるとして村議会は村名変更の条例を議決、1955年、豊浦村となった。町政施行により、豊浦町となる。

（新潟県豊浦町、278）福島村が中世の荘園名、豊田郷と旧村から一字ずつとり新村名を合成改正。1983年、同村を中心に合併町政。（K-15,1728,1799）

△ 山口県豊浦郡豊浦町 とようらちょう 737年に見る郡名による。穴間豊浦津など、関門海峡をさした地名。郡名に広まった。（H36,493）

- 虻田郡虻田町 あぶたちょう 支笏洞爺国立公園にある。洞爺湖温泉あり。

◇ 神奈川県足柄下郡箱根町 はこねまち 町域の殆どは富士箱根伊豆国立公園内。箱根三大祭り＝湖水祭り 大文字焼き 大名行列。（PE14,695）

洞爺湖まつりに、箱根町が「大名行列」や「獅子舞」などで参加。観光の町。

- 虻田郡洞爺村 とうやむら 財田出身者が中心になって開拓された。財田 たからだと命名された字あり。（NHK,529）

◇ 香川県三豊郡財田町 さいたちょう 洞爺村開拓の指導者、三橋政之の出身地。

- 白老郡白老町 しらおいちょう 1856—1865年、北方警備の仙台藩陣屋設置。1966年、国指定の史跡。（PE01-1,904—905） 平田源三郎 白老村村長

◇ 青森県西津軽郡森田村 もりたむら 源三郎出身地。

◇ 宮城県仙台市 せんだいし（歴史姉妹都市）仙台藩土東蝦夷地防

備.

- 勇払郡厚真町 あつまちょう 1950—1963年 9名の女性を前沢町から主婦として迎えた.

- ◇ 岩手県胆沢郡前沢町 まえさわちょう

結婚入地した主婦の「前沢の思い出を語りあう会」に出席した町長は町としての交流を要望された.

- 勇払郡鵒川町 むかわちょう アイヌ語 Mukka pet 川口が塞がる川の意, 川名を町名に (NHK,543) 1級河川水系をもち, その河川と同名の自治体で構成する「全国川サミット」の構成員同士. 明治・大正にかけて, 鵒川上流から製紙の原料のエゾマツ, トドマツなどの原木が筏に組まれて流送されたとき, 庄川町からの職人がそれに従事. 鵒川町100年記念式典に当たり, 姉妹都市提携の調印式.

- ◇ 富山県東砺波郡庄川町 しょうがわまち 1952年, 4村が合併して成立. 庄川下流扇状地の扇頂部にある. 木材業者多く, 筏村があった. (K16,435,1224—1228,H16,900—909,PE16-1,853)

#### 日高支庁管内

- 沙流郡平取町 びらとりちょう 1890年頃から, 三原郡から多くの開拓者が来住.

- ▽ 兵庫県三原郡三原町 みはらちょう (友好町)

- 静内郡静内町 しずないちょう 1810年, 庚午事変により, 稲田邦植, 静内郡斜丹島支配を下命. 静内開拓に当たる. (K28,1808—14, PE01-1,1395—97)

- ◆ 兵庫県洲本市 すもとし 1615年, 稲田示植, 淡路由良城代. 1630年, 洲本に移転. (K28,1808—14,PE01-1,1395—97)

- ◆ 徳島県美馬郡脇町 わきちょう 蜂須賀入国の時, 脇城の城番に稲田植元を配した. 以来, 稲田氏の領.

要覧 静内町, 洲本市, 脇町は稲田氏関係の歴史的三姉妹都市.

- ◇ 兵庫県三原郡西淡町 せいだんちょう 渡辺伊平を団長とする日蓮本門仏立講中等一行53戸、168人が1885年ペラリ（現、豊畑）に入植。
- 三石郡三石町 みついしちょう
  - ◇ 岩手県岩手郡葛巻町 くずまきちょう 各地区への移住者の郷里。
  - ◇ 新潟県西頸城郡能生町 のおまち 海運・漁村 1890年、米騒動。小泊住民は能生町の米穀商を襲う。直後から北海道住が始まった。1887年から港町に、川崎船による沖合漁業を始めた。町の漁業の中心地、1892年、静内町三石町境の春立にも40名余が移住。（K1-1,1458,K15,1060）
  - ◇ 福井県大野市 おおのし 歌笛に移住。

越前大野藩は幕末期から北海道には関心があり、箱館弁天町に藩営の商店「大野屋」を開き、大野村から山越内まで調査を命じている。さらに山越内には浅山氏、虻田には松尾氏がその地に住居を構えるなど、北海道には親近感をもっている。三石町長から大野市長に町開基百年記念式への招待があり三石町と大野市の縁が始まった。（大野市, 19）

「当村ハ殆ント純然タル越前村落ナリ」といわれ、その後も後継者があいつぎ歌笛組合は福井県を代表する移住集団となっていた。（中村, 59）
  - ◇ 兵庫県三原郡南淡町 なんだんちょう 本桐に移住。

#### 十勝支庁管内

- 帯広市 おびひろし 晩成社により開拓。
  - ◇ 静岡県賀茂郡松崎町 まつざきちょう（開拓姉妹都市）十勝、帯広の開拓開基者、晩成社の指導者依田勉三の出身地。
  - ◇ 徳島県徳島市 とくしまし（産業文化姉妹都市）すずらんキャンペーンに関心をもった。商工会の交流が続いた。
  - ◇ 大分県大分市 おおいたし（観光文化姉妹都市）

空港が同時に開港。

- 河東郡音更町 おとふけちょう  
大川宇八郎 1855—1937が最初の和人定住者。(十勝, 253—254)
- ◇ 岩手県九戸郡軽米町 かるまいまち 宇八郎生誕地。  
1980, 『音更町史』 47.
- 河東郡士幌町 しほろちょう 美濃開墾合資会社の美濃団体が最初の和人の開拓。
- ◇ 岐阜県美濃市 みのし 本巣郡
- 河東郡上士幌町 かみしほろちょう
- ◇ 京都府船井郡丹波町 たんばちょう 1876年, 須知高校の前身である京都農牧学校が設立された農牧業が盛んな所。K-26, 672。  
須知高校の生徒が酪農の体験実習に来町したことが契機。
- 上川郡新得町 しんとくちょう 村山和十郎1899年, シントク原野開拓に従事。(新得町, 136, 十勝, 255)
- △ 山形県東根市 ひがしねし 和十郎の郷里。1897年, 北海道開墾組合を設立。
- ◇ 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町 ごかせちょう 穀類原料の焼酎生産高全国一の業者がある。高千穂地区の焼酎醸造は有名。  
(PE45, 465. K45, 958)
- 新得町でムギ焼酎の醸造を計画した時, 五ヶ瀬町の醸造業者に指導を依頼。『町史』 136.
- 上川郡清水町 しみずちょう 1927年, 人舞村を改名。Peker petを明るく清らかな川と解して清水の名称を採用。(山田, 319)
- △ 福井県丹生郡清水町 しみずちょう 志計村, 三方村, 天津村の合併に当たり, 各村中に清水尻, 清水山, 清水畑のように清水が付く字があり, 各村名の一ずつをとり, 志三津とした。(k18, 148, H18, 348, PE18, 417—418)
- △ 静岡県駿東郡清水町 しみずちょう かつて泉郷, 小泉郷といわれたように湧泉が見られ, 柿田川の水源となる湧泉は三島溶岩流中の地下水が湧出する地点に当たり, 豊富な水資源を提供している。(PE18, 281)

△ 和歌山県有田郡清水町 しみずちょう 阿河荘と山傳田荘の中心地であった清水という地名を合併の際、住民の総意として町名に、有田川に支流の湯川が合流する地点、地内八幡宮境内の井水に因むとか、有田川の流れが清いことに因るとも云う。

(K30,533,1198)

○ 河西郡中札内村 なかさつないむら

◇ 富山県東砺波郡福野町 ふくのまち

青年団同士で北海道のジャガイモ、富山のサトイモということで交流をしていた。その後、中札内には富山県人の入植者も多いので締結。

○ 広尾郡大樹町 たいきちょう 相馬地方からの入植者が多い。

◇ 福島県相馬市 そうまし 豊頃町とも。

○ 広尾郡広尾町 ひろおちょう 首都圏の百貨店での物産店で知り合う。

◇ 長崎県西彼杵郡大島町 おおしまちょう 南北環境の違う町同士の町造りに協力したいとの強い意向。

○ 中川郡幕別町 まくべつちょう 1926年10月18日から若山牧水は黒田温泉に5日滞在し、幾山河越えさり行かば寂しさの はてなむ國ぞ けふも旅ゆく を残す。同温泉跡に歌碑あり。幕別町史編纂委員会、1967、『幕別町史』、同町。808。『牧水全集』の記載とは多少の差がある（若山、240—244）

◇ 宮崎県東臼杵郡東郷町 とうごうちょう 牧水 1885—1928 の生誕地。和歌、歌集に約7,000首、未収約 1,600首。（K45,996）

○ 中川郡池田町 いけだちょう 川合村の町制施行に当たり、役場所在地池田に因み池田町と改名。同地には池田農場があった。

△ 福井県今立郡池田町 いけだちょう 中世の庄園名 池田庄 池田郷 （K18,1365,PE18,44—45,H18,384）

福井県出身者は多い。（中村、61）

△ 長野県北安曇郡池田町 いけだまち 中世以来の郷名による。（k20,1928,1489）

△ 岐阜県揖斐郡池田町 いけだちょう 続日本紀嘉祥 2 年(842)の項にみられる郡名。(H21,281)

△ 徳島県三好郡池田町 いけだちょう 中世以来の地名。(K36,970)

△ 香川県小豆郡池田町 いけだちょう 887年島内を四庄に分け、ここを池田郷と称した。古い荘園名。(PE,72,K37,1022)

△ 大阪府池田市 いけだし 池田市を交え、全国 7 市町で毎年サミットを行い、物産の販売等で協力している。

『要覧』512頁 同名市町村提携 1988, 8, 30, 第 4 回全国池田サミットで池田市と他の池田町が姉妹縁組調印。

○ 中川郡豊頃町 とよころちょう 1896年, 二宮尊親 にのみや たかちか 1855~1922 が率いる相馬市の復興社が二宮(旧・ウシシュベツ)に入地。(豊頃町, 37-40)

◇ 福島県相馬市 そうまし 大樹町とも。

◇ 富山市滑川市 なめりかわし 礼文内へ入植。

### 釧路支庁管内

○ 釧路市 くしろし 市の西部鳥取は鳥取藩士により開発。

◇ 秋田県湯沢市 ゆざわし 古くから両市間に物資の交流があった。当時の釧路市長が雄勝郡羽後町出身で、湯沢銘酒の取り引きに歴史を持つとの記載がある。(PE05,406,809-810)

△ 山梨県都留市 つるし 都留市出身の画家増田 誠が、両市民に愛された。

◇ 鳥取県鳥取市 とっとりし 木古内町への大泉藩士の入植と同様、1883の移住士族取り扱い規則により、旧鳥取藩士が入植した。『新道史』3, 783-788。鳥取士族の北海道移住は1888年に始まると云われる。士族授産の一環として具体的に取り上げたのは鳥取県再置後に県令山田信道であり、1882年、県下6,000余戸の士族から2,000戸を開拓移住をさせたいと上申、1,000戸が認められた。同年以降、10回募集、7回にわたり428戸が釧路、岩見沢、江別、室蘭、根室へ移住。定着率は悪かった。(PE30,886)

—887)

- △ 鹿児島県出水市 いずみし ツルがシベリアから飛来、越冬する。（PE46,57～58）
- 厚岸郡厚岸町 あっけしちょう 幕府普請役最上徳内、1765—1808に亘り蝦夷地調査。主に厚岸を中心に活躍。
  - △ 山形県村山市 むらやまし 最上徳内 1755—1836 の生地。  
なお、同町の厚岸漁協は青森県下北郡大間町の大間漁協と姉妹提携をしている。
- 川上郡弟子屈町 てしかがちょう 永山在兼 1889—1945 阿寒横断道路建設を推進。
  - ◇ 鹿児島県日置郡東市来町 ひがいりきちょう 在兼生誕地。
- 阿寒郡阿寒町 あかんちょう 阿寒の語義は諸説ある。松浦氏郡名建議書は「アカンは事の如き事。アカン山雄山雌山車の両輪の如く並び聳えるが故号るよし也」とある。akan 車輪。（山田,278）
  - ◇ 熊本県阿蘇郡阿蘇町 あそまち 日本書紀景行天皇18年の条に阿蘇国とあり、和名抄高山寺本に阿曾とある。（H44,290, K43,90）  
1981年阿寒町開基百年を機にともに1934年に国立公園に指定されたとして提携。基幹産業も観光と農業と似通い、決め手になったのは「阿」が町名に付いていることである。
- 白糠郡音別町 おんべつちょう 製薬会社の工場がある。
  - ◇ 徳島県那賀郡鷺敷町 わじきちょう 同じ会社の工場がある。  
両町の工場の本社は徳島県鳴門市にある。音別町は同市で物産の販売を行った時、鷺敷町も物産の販売をしており、それを契機に交流が始まった。

#### 根室支庁管内

- 根室市 ねむろし 黒部市出身者が多い。（K1—1,351）
  - ◇ 富山県黒部市 くろべし
- 野付郡別海町 べつかいちょう 枚方市からの酪農実習生がこの

農家の子弟と結婚した。

△ 大阪府枚方市 ひらかたし

枚方出身の酪農家の主婦が枚方に里帰りした時市役所を訪問、別海の状況を語った。その時、枚方ではそのような農村と交流が望まれたので別海町との交流が始まった。別海町では農業後継者の配偶者の不足に悩まされていたので、枚方市を中心に花嫁募集の運動を行った。現在も菊と緑の会を組織し、運動を進めている。

○ 標津郡中標津町 なかしべつちょう

△ 神奈川県川崎市かわさきし

1986年、酪農後継者不足に悩む町は農業後継者対策協議会を発足させ農村の花嫁対策を推進したが、川崎地方自治研究所の仲介で「酪農青年と川崎市女性との交歓・酪農体験ツアー」を行った。1991には「川崎市・中標津町都市間交流事業契約保養所開所記念式」を行った。その後、川崎市での物産展を行い交流を続けた。また、川崎市のシルバービレッジ構想（市民保養所計画）で、「直行便で2時間、阿寒・知床・釧路湿原国立公園など大自然への交通に恵まれ、新鮮な食材に恵まれ、アイスクリームやバター造りも体験でき、森林浴やバードウォッチングなどが出来る」と町内4カ所の宿泊施設が保養施設の指定を受けた。こうした実績のもと、1992年7月9日友好都市の調印式が行われた。（中標津町、273-275）

○ 標津郡標津町 しべつちょう 1879年、標津戸長役場設置、初代戸長、楨宗説は大畑出身。標津戸長役場は独立前の標津目梨両郡戸長の上村藤右衛門も大畑出身であったが、又十藤野の支配人であり、この地方が戸長役場の独立により幕末よりの藤野の支配を脱したと云える。（標津町、373）

◇ 青森県下北郡大畑町 おおはたまち 標津町にサケ定置網が30統余あるが、その労働者として、多くの町民が当たる。



北海道の姉妹都市（梅原）

年表

提携年	月	日	支庁(現)市町村	都府県市区町村	備考	△：友好都市
1890	1	15	空知新十津川町	奈良十津川村		
1963	10	4	釧路釧路市 釧路市	秋田湯沢市 鳥取鳥取市		
1964	7	4	胆振虻田町	神奈川箱根町		
1966	10	26	十勝帯広市	大分大分市	観光文化姉妹都市	
1968	10	29	渡島森町	静岡森町		
1970	12	24	後志喜茂別町	香川寒川町		
1971	3	2	渡島恵山町	青森むつ市	姉妹観光地	
	6	30	渡島戸井町	青森大間町		
1973	1	10	網走斜里町	沖縄竹富町		
	5	9	空知長沼町	岩手水沢市		
	8	10	胆振苫小牧市	東京八王子市		
1974	2	11	十勝幕別町	宮崎東郷町	△	
	5	13	後志仁木町	徳島川島町		
1975	3	1	日高三石町	岩手葛巻町	△	
			三石町	新潟能生町	△	
			三石町	福井大野市	△	
			三石町	兵庫南淡町	△	
	3	25	渡島南茅部町	青森佐井村		
	4	1	胆振洞爺村	香川財田町		
	9	1	空知沼田町	富山小矢部市		
1976	1	1	十勝上士幌町	京都丹波町	△	
	10	19	根室根室市	富山黒部市		
	12	24	胆振室蘭市	静岡清水市		
1978	5	20	十勝帯広市	静岡松崎町	開拓姉妹都市	
	7	1	留萌小平町	東京小平市		
		15	石狩江別市	高知土佐市	△	
	8	26	空知栗山町	宮城角田市		

	29	後志ニセコ町	滋賀マキノ町	
10	20	上川富良野市	兵庫西脇市	
1979	2	11	根室標津町	青森大畑町 △
	7	10	石狩恵庭市	山口和木町
	9	8	空知秩父別町	香川綾南町
		11	留萌羽幌町	富山平村
	10	3	十勝清水町	福井清水町
				静岡清水町
				和歌山清水町
1980	7	1	宗谷礼文町	広島豊町
		19	石狩広島町	広島東広島市
	10	1	留萌羽幌町	石川内灘町
	11	22	渡島砂原町	青森蟹田町
1981	4	17	胆振伊達市	宮城亶理町
	5	8	胆振白老町	宮城仙台市
	6	1	上川中川町	長野中川村
	7	9	後志留寿都村	兵庫養父町
	9	30	留萌苫前町	三重長島町 △
	10	9	上川美深町	福岡添田町
1982	4	15	空知滝川市	栃木栃木市 △
		16	胆振苫小牧市	栃木日光市
	7	3	空知奈井江町	岡山成羽町
		21	胆振伊達市	福島新地町
	8	7	十勝帯広市	徳島徳島市(産業文化姉妹都市)
1983	2	12	網走斜里町	青森弘前市 △
	3	3	十勝大樹町	福島相馬市
			十勝豊頃町	福島相馬市
	10	13	釧路弟子屈町	鹿児島東市来町
		26	胆振登別市	宮城白石市
			胆振厚真町	岩手前沢町

北海道の姉妹都市（梅原）

1984	6	1	檜山江差町	滋賀能登川町	
	7	16	十勝豊頃町	富山滑川市	
	10	3	渡島松前町	滋賀近江八幡市	
		15	渡島松前町	福島梁川町	
	12	1	上川上川町	新潟上川村	
1985	5	10	後志ニセコ町	長野信州新町	
	10	31	十勝音更町	岩手軽米町	
1986	4	15	十勝池田町	福井池田町	
				長野池田町	
				岐阜池田町	
				徳島池田町	
				香川池田町	
		28	網走北見市	高知高知市	
	5	2	日高静内町	兵庫洲本市	
	7	18	十勝広尾町	長崎大島町	
	12	2	釧路阿寒町	熊本阿蘇町	
1987	9	27	宗谷稚内市	沖縄石垣市	△
1988	3	31	渡島木古内町	青森蟹田町	△
	4	5	空知由仁町	愛知碧南市	青年友好都市
		17	胆振伊達市	宮城山元町	
	5	30	胆振伊達市	宮城柴田町	
	6	10	十勝新得町	宮崎五ヶ瀬町	
		30	十勝池田町	大阪池田市	
	10	16	渡島福島町	青森三厩村	△
	11	6	網走常呂町	高知佐川町	
		14	網走訓根府町	茨城関城町	
	12	6	檜山上ノ国町	青森市浦村	△
			上川中富良野町	山形長井市	フラワー都市の交流
				富山砺波市	

			静岡下田市	
			福岡久留米市	
			鹿児島和泊町	
1989	3	13	渡島函館市	青森青森市
	4	27	渡島木古内町	山形鶴岡市
	7	13	上川風連町	東京杉並区 自治体友好
		28	空知幌加内町	岡山牛窓町
	8	22	釧路釧路市	鹿児島出水市 △
		26	胆振豊浦町	新潟豊浦町 △
				山口豊浦町 △
	9	9	渡島福島町	岐阜木曽福島町 △
				長崎福島町 △
1990	7	1	空知滝川市	沖縄名護市 △
	8	8	渡島知内町	青森今別町 △
	9	9	日高静内町	兵庫西淡町
				徳島脇町
	10	1	空知南幌町	京都京北町
		3	宗谷中頓別	広島東野町
	11	1	渡島松前町	愛媛松前町 △
1991	6	1	石狩厚田村	石川門前町 △
			上川中富良野町	福島須賀川市(フラワー都市加盟)
	7	4	根室別海町	大阪枚方市 △
	7	14	釧路厚岸町	山形村山市 △
	10	19	後志真狩村	香川大野原町
		22	胆振白老町	青森森田村
	11	3	渡島樺法華村	青森風間浦村
			網走女満別町	東京稲城市
1992	1	22	上川美瑛町	青森岩木町
	2	14	空知月形町	新潟月潟村
	4		上川中富良野町	福井武生市 (フラワー都市加盟)

北海道の姉妹都市（梅原）

	7	9	根室中標津町	神奈川県川崎市	
	7	29	釧路音別町	徳島鷺敷町	
	9	1	釧路釧路市	山梨都留市	
1993	3	25	後志黒松内町	愛媛野村町	△
	11	3	十勝中札内村	富山福野町	
1994	4	15	石狩千歳市	鹿児島指宿市	
			十勝士幌町	岐阜美濃市	
	7	6	日高平取町	兵庫三原町	
		31	上川愛別町	神奈川愛川町	
				滋賀愛東町	
				長崎愛野町	
	10		十勝新得町	山形東根市	
			網走津別町	山梨櫛形町	
1995	7	8	胆振鶴川町	富山庄川町	
	8	4	後志倶知安町	鹿児島山川町	
	9	21	宗谷礼文町	岩手大迫町	
	10	23	後志岩内町	新潟上越市	
			胆振室蘭市	新潟上越市	
1996	3	24	檜山奥尻町	兵庫北淡町	
			空知中富良野町	兵庫宝塚市	フラワー都市加盟
<b>予定</b>					
1996	6	23	日高浦河町	熊本河浦町	
1997			空知長沼町	福島長沼町	

**文献** （特定市町村についての記載に限られる市町村史の類はそれぞれの自治体の項目にかかげたものもある）

板橋守邦，1989，『北の捕鯨記』，北海道新聞社。

振興会（株）電通北海道支社・制作，1995（はしがき），『わがまち再発見北海道212』，財団法人 北海道市町村振興会。

自治省行政局振興課・編，1994，『全国市町村要覧』，第一法規。『要覧』

と略記.

中村英重

1 1991, 「香川県と北海道移住」, 『リベラルアーツ』 5.

2 1993, 「福井県と北海道移住」, 札幌大学女子短期大学部創立25周年記念論文集委員会・編, 『地域・情報・文化』, 響文社.

梅原ゼミナール, 1995, 「北海道の姉妹都市」, 『教養ゼミナール論集』 21, 札幌大学教養部. R と略記

若山牧水 (若山喜志子, 大悟法利雄・編輯校訂), 1930, 『牧水全集』 5, 改造社

Kd 国史大事典編集委員会, 『国史大辞典』, 吉川弘文館.

1 1979.

2 1980.

9 1988.

郷土誌類

北海道

北海道・編, 1971, 『新北海道史』 3, 北海道.

石狩地方

江別市 同史総務課・編, 1995, 『えべつ昭和史』, 同市.

恵庭市 同市戸磯町内会・編, 1989, 『戸磯百年のあゆみ』, 同町内会.

広島町 「広島町の歩み」編さん委員, 1972, 『広島町の歩み』, 同刊行会.

渡島地方

福島町 福島町史編集室・編, 1993, 『福島町史』 1, 同町.

木古内町

南茅部町 同町史編集室・編, 1987, 『南茅部町史』 上, 同町.

森町 同町・編, 1980, 『森町史』, 同町.

後志地方

空知地方

南幌町 南幌町史編さん委員会・編, 1993『南幌町史』, 同町.

奈井江町 奈井江町百年史編さん委員会・編, 1990,『奈井江町百年史』, 同町役場.

由仁町 (由仁町)企画印刷株式会社・編, 1994,『由仁町史』1, 同町.  
東三川郷土誌発刊委員会(由仁町)・編, 1976,『東三川郷土誌』, 同自治会.

栗山町

新十津川町 小林宏吉・編, 1966,『新十津川町史』, 同町.

沼田町 沼田町, 1982,『新編 沼田町史』, 同町.

上川地方

富良野町 富良野青年会議所・編, 1985,『ふらの事典』, 同会議所.

留萌地方

苫前町 同町史編さん委・編, 1982,『苫前町史』, 同町.

網走地方

常呂町 同町百年史編さん委・編, 1989,『常呂町百年史』, 同町.

胆振地方

伊達市 同市市史編さん委員会・編, 1994,『伊達市史』, 同市.

白老町 白老町町史編さん委員会・編, 19H4,『新白老町史』, 同町.

日高地方

三石町 三石町史編さん委員会・編, 1971,『三石町史』, 同町.

十勝地方

十勝大百科事典刊行会・編, 1993,『十勝大百科事典』, 北海道新聞社.

音更町 音更町史編さん委員会・編, 1980,『音更町史』, 同町.

新得町 新得町史編さん委員会, 1990,『新得町史』, 同町.

豊頃町 豊頃町史編さん委員会・編, 1987,『追補 豊頃町史』, 同町.

釧路地方

釧路市 釧路市史編さん員会議・編, 1993,『新修釧路市史』1, 同市.

釧路古文書研究会・著, 同市史編さん事務局・編, 1996, 『釧路碑文手帳』 1, 同市.

白糠町 同町史編集委員会・編, 1983, 『白糠・八王子千人同心隊』, 同町.

根室地方

中標津町 同町50年史編さん委・編, 1995, 『中標津町50年史』, 同町.

新潟県

上越市

1 渡辺慶一, 1982, 『わが町の歴史・上越』, 文一総合出版.

2 白銀賢瑞, 1975, 『直江津町史』(復刻版), 柿村書店.

豊浦町, 豊浦町史編さん委員会・編集編さん, 1987, 『豊浦町史』, 同町.

月潟村誌編輯委員会・編, 1978, 『月潟村誌』, 同村.

福井県

大野市(坂田玉子)・編, 1984, 『ゆかりのあるまち』一, 大野市ゆかりのあるまち交流協議会, 同市.

H 平凡社『日本歴史地名大系』, 平凡社.

- |    |      |     |    |      |     |    |      |      |
|----|------|-----|----|------|-----|----|------|------|
| 2  | 1982 | 青森県 | 4  | 1987 | 宮城県 | 7  | 1983 | 福島県  |
| 15 | 1986 | 新潟県 | 16 | 1994 | 富山県 | 18 | 1981 | 福井県  |
| 25 | 1991 | 滋賀県 | 30 | 1981 | 奈良県 | 31 | 1983 | 和歌山県 |
| 34 | 1985 | 岡山県 | 35 | 1982 | 広島県 | 36 | 1980 | 山口県  |
| 40 | 1983 | 高知県 | 44 | 1985 | 熊本県 |    |      |      |

K 角川書店『角川日本地名大事典』, 角川書店.

- |    |      |      |    |      |     |    |      |     |
|----|------|------|----|------|-----|----|------|-----|
| 1  | 1987 | 北海道  | 2  | 1985 | 青森県 | 3  | 1985 | 岩手県 |
| 4  | 1979 | 宮城県  | 5  | 1980 | 秋田県 | 6  | 1981 | 山形県 |
| 7  | 1981 | 福島県  | 8  | 1983 | 茨城県 | 13 | 1978 | 東京都 |
| 14 | 1984 | 神奈川県 | 15 | 1984 | 新潟県 | 16 | 1979 | 富山県 |



- |    |      |     |    |      |     |    |      |      |
|----|------|-----|----|------|-----|----|------|------|
| 17 | 1981 | 石川県 | 18 | 1989 | 福井県 | 19 | 1984 | 山梨県  |
| 20 | 1970 | 長野県 | 22 | 1982 | 静岡県 | 27 | 1938 | 大阪府  |
| 28 | 1988 | 兵庫県 | 29 | 1990 | 奈良県 | 33 | 1989 | 岡山県  |
| 34 | 1987 | 広島県 | 35 | 1988 | 山口県 | 37 | 1985 | 香川県  |
| 38 | 1981 | 愛媛県 | 42 | 1987 | 長崎県 | 43 | 1987 | 熊本県  |
| 44 | 1980 | 大分県 | 45 | 1986 | 宮崎県 | 46 | 1987 | 鹿児島県 |
| 47 | 1986 | 沖縄県 |    |      |     |    |      |      |

PE 県百科事典類

- 01 北海道新聞社
- 01 a 南北海道史研究会・編, 1885, 『函館・道南大事典』, 国書刊行会.
- 02 東奥日報社・編, 1971, 『青森県百科事典』, 同社.
- 03 岩手放送 岩手百科事典発行本部, 1988, 『新版 岩手百科事典』, 岩手放送.
- 04 河北新報社, 1982, 『宮城百科事典』, 同社,
- 05 秋田魁新報社・編, 1981, 『秋田大百科事典』, 同社.
- 06 山形放送 山形県大百科事典事務局, 1988. 『山形県大百科事典』, 山形放送KK
- 08 茨木新聞社・編, 1981, 『茨城県大百科事典』, 同社.
- 09 栃木県大百科事典刊行会, 1980, 『栃木県大百科事典』, 下野新聞社.
- 13 神奈川県百科事典刊行会・編, 1984, 『神奈川県百科事典』, 大和書房.
- 14A 野島出版編集部・編, 1977, 『新潟県県民百科事典』, 同出版,
- 14B 新潟日報事業社出版部・編, 1984, 『新潟県大百科事典』, 同部.
- 16 富山大百科事典編集事務局, 1994, 『富山大百科事典』, 北日本新聞社.
- 17 北国新聞社出版局・編, 1993, 『石川県大百科事典』, 同新聞社.
- 18 福井新聞社百科事典刊行委員会, 1991, 『福井県大百科事典』, 同社.

- 20 信濃毎日新聞社開発局出版部, 1981(補訂版), 『長野県百科辞典』, 同社.
- 21 岐阜県百科事典刊行委員会, 1974, 『岐阜県百科事典』, 岐阜日日新聞社.
- 22 静岡新聞社出版局・編, 1978, 『静岡大百科事典』, 同社.
- 25 滋賀県百科事典刊行会・編, 1984, 『滋賀県百科事典』, 大和書房.
- 28 神戸新聞出版センター・編, 1983, 『兵庫県大百科事典』, 同センター.
- 31 新日本海新聞社鳥取県大百科事典編集委員会・編, 1984, 『鳥取県大百科事典』, 同社.
- 33 岡山県大百科事典編集委員会 山陽新聞社出版局・編, 1980, 『岡山県大百科事典』, 山陽新聞社.
- 34 中国新聞社・編発行, 1982, 『広島県大百科事典』.
- 35 山口県教育会・編, 1982, 『山口県百科事典』, 大和書房.
- 36 徳島新聞社調査事業局・編, 1981, 『徳島県百科辞典』, 同新聞社.
- 37 四国新聞出版委員会・編, 1984(2版), 『香川県大百科事典』, 四国新聞社.
- 40 西日本新聞社福岡県百科辞典刊行本部, 1982, 『福岡県大百科辞典』, 同新聞社.
- 42 長崎新聞社 長崎県大百科辞典出版局・編, 1984, 『長崎県大百科辞典』, 同新聞社.
- 43 熊本日新聞社, 熊本県大百科事典編集委員会・編, 1982, 『熊本県大百科事典』, 同新聞社.
- 44 大分放送 大分百科辞典刊行本部・編, 1980, 『大分百科辞典』, 同放送.
- 45 宮崎日日新聞社 宮崎県大百科辞典刊行委員会・編, 1983, 『宮崎県大百科辞典』, 同新聞社.
- 46 南日本新聞社 鹿児島県大百科事典編纂室・編, 『鹿児島県大

百科事典』, 南日本新聞社.

- 47 沖縄大百科辞典刊行事務局・編, 1983, 『沖縄大百科辞典』, 沖縄タイムス社.

## 北海道の自治体と都府県自治体との提携状況

提携自治体	都府県	提携相手自治体																								
		総計	東北地方	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	関東地方	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	中部地方	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
支庁(市町村数)	数	129	32	12	5	6	1	4	4	10	1	2	0	0	0	4	3	32	5	6	2	4	2	4	2	5
(212)	93																									
石狩支庁(10)	5	5																1		1						
渡島支庁(17)	11	14	9	7				1	1									2						1		1
檜山支庁(10)	3	3	1	1																						
後志支庁(20)	8	8																2	1 <sup>※</sup>					1		1
空知支庁(27)	11	12	2		1	1				1		1						3	1	1						
上川支庁(24)	8	16	3	1				1	1	2					1	1		5	1	1		1		1		1
留萌支庁(9)	4	4								1					1			2		1	1					1
宗谷支庁(10)	3	3	1		1																					
網走支庁(26)	6	7	1	1						2	1				1			1					1			
胆振支庁(15)	10	16	8	1	1	5		1		2		1			1			4	2 <sup>※</sup>							1
日高支庁(9)	3	8	1		1													2	1			1				
十勝支庁(20)	12	21	3		1			1	1									9		2		2		1	2	2
釧路支庁(10)	5	8	2				1	1										1					1			
根室支庁(5)	4	4	1	1						2					1	1		1		1						

※上越市を含む

北海道の姉妹都市（梅原）

愛知	近畿	三	滋	京	大	兵	奈	和	中	鳥	島	岡	広	山	四	徳	香	愛	高	九	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖
知	畿	重	賀	都	阪	庫	良	歌	国	取	根	山	島	口	国	島	川	媛	知	州	岡	賀	崎	本	分	崎	児	縄
県	地	方	県	県	府	府	県	県	地	方	県	県	県	県	方	県	県	県	県	地	方	県	県	県	県	県	県	県
1	18	1	4	2	2	7	1	1	8	1	0	2	3	2	15	5	5	2	3	17	2	0	3	1	1	2	5	3
									2			1	1		1			1		1							1	
	1	1													1		1			1	1							
	2	1			1																							
	3	1			1	1									4	1	2	1		1							1	
1	1		1						2		2				1	1				1							1	
	2	1			1															4	2	1					1	
	1																											
									1			1								1							1	
									1			1			2			2		1							1	
									1			1			1	1												
	4				4										1	1												
	2		1	1			1								3	2	1			4		1		1	2			
									1	1					1	1				3			1				2	
	1			1																								